

支部主催にて七月五日田川郡後藤寺町 七月六日阿蘇郡阿蘇町に於て、進取炭輸入阻止、失業反對坑夫大會を開催して氣勢を挙げ何れも盛會であつた。
尤も社民の坑夫大會並に阻止運動開始に就ては速め互助會に提携を申込みたるも拒絶されたりと謂ふ。尚警察當局に於ては目下本問題に關して互助會其他の當局が専ら運動中なるを以て此際労働組合の策動は特に慎重を要すとして警告をなしたる由にて演説會等極めて穏かであつた。

(2)

失業防止坑夫大會並に演説會狀況

- 一、日時 昭和七年七月四日 自午後七時 至同 九時
- 二、會場 遠賀郡中間町公會堂
- 三、主催 日本石炭坑夫組合 社民福岡縣聯支部聯合會
- 四、參會者數 一、五〇〇名
- 五、司會者の挨拶
日本石炭粕屋聯合會執行委員 山木戸 初太郎
現代政治の缺陷は資本家擁護に在る。労働階級は團結して財閥に當らねばならない。そして中小資本家とも共同一致して吾等の生活を保障せねばならない。
- 社民八幡支部常任書記 篠原 修
- 五、一五事件、首相刺殺事件は何故起つたか、無産階級

(3)